

国内生産

ハダニ類の天敵製剤

ミヤコトップ

Miyako-Top

ミヤコカブリダニ剤



ミヤコカブリダニ

捕食!



ナミハダニ



自社生産工場

待ち伏せ型自社生産天敵!

商品詳細

※商品規格および仕様は予告なく変更する場合があります。

商品名：ミヤコトップ

種類名：ミヤコカブリダニ剤

製品規格：2,000頭 / 250ml ボトル（その他成分の鉍物質は石綿不検出）

学名： *Neoseiulus californicus*

（農林水産省登録第 22894 号）

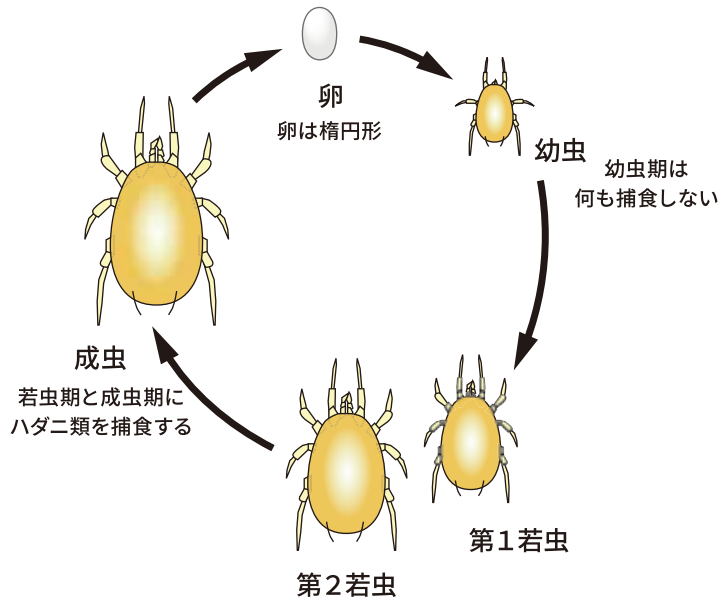


www.agrisect.com

■虫を知る 害虫とその天敵の生活サイクルを知り

天敵生物ミヤコカブリダニの生態

ミヤコカブリダニのライフサイクル



ミヤコカブリダニ



ミヤコカブリダニが
ハダニの卵を捕食



分布	日本、欧州、アルジェリア、南・北・中米
体長	雌成虫 約0.35mm
体色	半透明の淡いオレンジ色
ライフサイクル	卵 → 幼虫 → 第1若虫 → 第2若虫 → 成虫 ※捕食活動を行うのは、第1・第2若虫および成虫
活動適温	15～30℃
発育期間(卵～成虫)	約5.5日(25℃環境下)
捕食対象	多種のハダニ類を捕食する。また、ハダニ類がいない場合は、作物の花粉等を食べて生存できる。ハダニ類の卵から成虫までの全発育ステージを捕食する(卵を好む)。
雌成虫の平均捕食数	ハダニ卵の場合、1日当たり約10個(26℃環境下)

ましよう。

害虫ナミハダニの生態

食

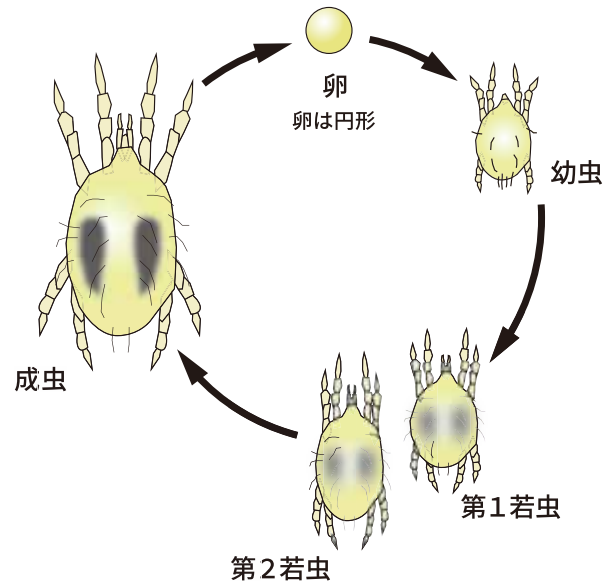


ナミハダニ（黄緑型）



ナミハダニ（赤色型）

ナミハダニのライフサイクル



ナミハダニによる被害（白色小斑）



ナミハダニによる被害（クモの巣状の糸）

体長	雌成虫 約0.6mm
体色	黄緑色 および 赤色
ライフサイクル	卵 → 幼虫 → 第1若虫 → 第2若虫 → 成虫 ※卵以外の全発育ステージで植物を加害する。
活動適温	20～25℃
発育期間（卵～成虫）	約10日（25℃環境下）
被害	主に植物の葉裏に寄生し、吸汁する。多発生するとクモの巣状の糸を分泌して作物を覆い、枯死させることもある。 雌1頭からでも繁殖が可能のため、被害の拡大が進みやすい。

ミヤコトップの導入タイミング

●スケジュール放飼する場合

作物の開花後なら、ハダニ類が発生していなくても作物の花粉等を食べて生存可能です。

●ハダニ類の初期発生時に放飼する場合

事前にハダニ類の発生が確認できた箇所には目印を付けておき、ミヤコトップを重点的に散布しましょう。

※ハダニが多発生している場合は、ミヤコカブリダニに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけハダニの密度を下げてから放飼を行ってください。

⇒本書の **ミヤコトップの導入前にハダニ防除で使用できる農薬** をご参照ください。

10aあたりのミヤコトップ導入基準：1～3本（2,000～6,000頭）



導入前の注意点

●これまで使用した農薬がミヤコカブリダニに影響しないか確認しましょう。

⇒本書の **ミヤコカブリダニに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について** をご参照ください。

ミヤコトップの導入手順



←カブリダニ製剤の散布方法を動画で確認できます。

① 天敵が届いたら

輸送用箱からボトルを取り出し、ハウス内で10分ほど静置して、常温に戻します。



注意!

ミヤコトップの到着後は、当日に全て放飼し、使い切ってください。
万一放飼が翌日になる場合は、容器を新聞紙に包んで乾燥を防ぎ、冷蔵庫の野菜室で保管してください。

② ボトル内を攪拌する

ボトル内の天敵の偏在を防ぐため、ボトルを横にして10～20回程度回転させ、天敵の密度を均一にしてください。



注意!

ボトルを上下左右に激しく振るなど、手荒に扱っているとミヤコカブリダニが圧死してしまうため、注意してください。

③ 天敵放飼

ボトルを開封し、施設全体に放飼します。

ハダニの発生場所およびその周辺と、ハダニの発生しやすい場所(ハウスの出入り口や側窓、暖房機付近)、例年ハダニの発生が見られる箇所には重点的に放飼します。



Point!

天敵の放飼に慣れていない場合は、ボトルのキャップに内容物を移してから放飼すると、均一に散布ができるのでおすすめです。

(目安として、ボトル1本でキャップすり切り1杯を約30回放飼できます)



ハウス出入り口付近



ハウス側窓付近



暖房機付近

④ 放飼が終わったら

放飼後のボトルは、ミヤコカブリダニがボトル内に残っているため、畝の上に静置してください。



Point!

ミヤコカブリダニが良く定着するように、放飼から1週間は葉面散布剤や農薬の使用は避けてください。

⑤ その後の確認方法

ミヤコカブリダニが定着すると、葉裏や花の周辺で見られるようになります。肉眼でも確認できますが、ルーペがあると観察に便利です。



ミヤコカブリダニに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

- ・表中の数字は残効日数を表します。天敵の放飼は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経てから行ってください。
- ・「0」は農薬散布当日を表しますが、散布後、乾燥するまでは影響がありますので注意してください。
- ・「影響ない」「ほとんど影響ない」と表示されている農薬でも、散布後、薬液が乾燥するまでは影響がありますので注意してください。

【殺虫剤・殺ダニ剤】

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
アカリタッチ乳剤	乾燥後影響ない
アクトラ顆粒水和剤	14
アタックオイル	28
アタブロン乳剤	9
アドマイヤー1粒剤	0
アドマイヤー顆粒水和剤/ 水和剤/フロアブル	0
アニキ乳剤	3
アフーム乳剤	卵・成虫の死亡率高い
アブロードエースフロアブル	幼虫に影響ある
アブロード水和剤	0
アルバリン顆粒水和剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
ウララDF	卵・成虫に影響ない
エコピタ液剤	乾燥後影響ない
オレート液剤	0
カスケード乳剤	卵の死亡率高い
カネマイトフロアブル	0
クリアザールフロアブル	卵・成虫の死亡率高い
グレーシア乳剤	長期間残効する可能性あり
コテツフロアブル	7
コルト顆粒水和剤	ほとんど影響ない
コロマイト水和剤	1
コロマイト乳剤	1
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンクリスタル乳剤	乾燥後影響ない
サンマイトフロアブル	成虫の死亡率高い
スタークル顆粒水和剤/粒剤	長期間残効する可能性あり
スターマイトフロアブル	卵・雌成虫にほとんど影響ない
スピノエース顆粒水和剤	成虫に影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
スプラサイド水和剤	卵・成虫の死亡率高い
ダニコングフロアブル	1
ダニサラバフロアブル	卵・成虫にほとんど影響ない
ダブルシューターSE	死亡率高い
ダブルフェースフロアブル	14
チェス顆粒水和剤/水和剤	0
ディアナSC	成虫に影響ない
トリガード液剤	0
ニッソラン水和剤	0
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
バロックフロアブル	卵の死亡率高い
ピタイチ	乾燥後影響ない
ピラニカEW	14
ファインセーブフロアブル	ほとんど影響ない
フーモン	乾燥後影響ない
プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない
プレオフロアブル	ほとんど影響ない
プレバソンフロアブル5	ほとんど影響ない
ベストガード水溶剤	卵の死亡率高く成虫に影響ある
ベネビアOD	ほとんど影響ない
ベミデタッチ	ほとんど影響ない
ベリマークSC	ほとんど影響ない
マイトコーネフロアブル	0
マッチ乳剤	0
マブリック水和剤20	卵・成虫の死亡率高い
ムシラップ	乾燥後影響ない
モスピラン顆粒水和剤/水溶剤	成虫に影響ないが卵に影響ある
モベントフロアブル	長期間残効する可能性あり

- ・表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境（展着剤、温度、天候、紫外線量、換気条件など）によって変化するのでご注意ください。
- ・本表は現場情報に基づく弊社の知見をもとに作成しました。詳細は各農薬メーカーにお問い合わせください（農薬ラベルをご確認ください）。



弊社HPからも
ご確認ください。

【殺菌剤】

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
アミスター20フロアブル	幼虫・成虫に影響ない
アミスターオプティフロアブル	幼虫・成虫に影響ない
イオウフロアブル	卵・成虫に影響ない
インプレッションクリア	ほとんど影響ない
オーソサイド水和剤80	0
ガッテン乳剤	ほとんど影響ない
ケンジャフロアブル	ほとんど影響ない
ジマンダイセン水和剤	0
ショウチノスケフロアブル	1
ダイアメリットDF	14

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ダコニール1000	0
トップジンM水和剤	ほとんど影響ない
トリフミン水和剤	0
ネクスターフロアブル	ほとんど影響ない
バルミノ	成虫の死亡率高い
パレード20フロアブル	ほとんど影響ない
パンチョTF顆粒水和剤	ほとんど影響ない
ピクシオDF	ほとんど影響ない
モレスタン水和剤	成虫の死亡率高い

ミヤコトップの導入後でも使用できる農薬

※ハダニに登録があり、ミヤコトップの導入後に散布してもミヤコカブリダニに対する影響が少ない農薬を抜粋しています。

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
カネマイトフロアブル	0
スターマイトフロアブル	卵・雌成虫にほとんど影響ない
ダニサラバフロアブル	卵・成虫にほとんど影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ニッソラン水和剤	0
マイトコーネフロアブル	0

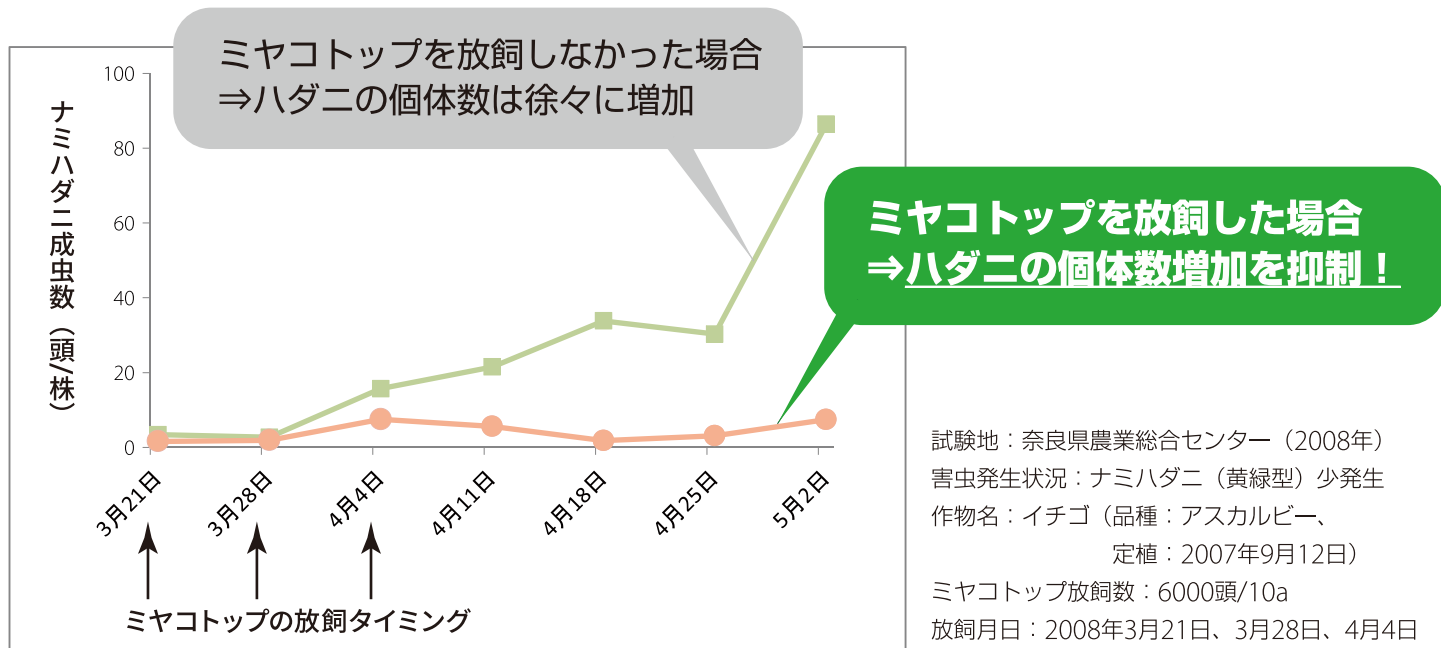
ミヤコトップの導入前にハダニ防除で使用できる農薬

※ハダニに登録があり、ミヤコトップの導入前に散布してもミヤコカブリダニに対する影響が少ない農薬を抜粋しています。

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
アカリタッチ乳剤	乾燥後影響ない
エコピタ液剤	乾燥後影響ない
コロマイト水和剤	1
コロマイト乳剤	1
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンクリスタル乳剤	乾燥後影響ない

農薬名	残効期間もしくは影響の程度
ダニコングフロアブル	1
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
ピタイチ	乾燥後影響ない
フーモン	乾燥後影響ない
ムシラップ	乾燥後影響ない

ミヤコトップのハダニ類に対する防除効果



ミヤコトップについて

ミヤコトップは、ハダニ類の捕食性天敵であるミヤコカブリダニをボトルに封入した天敵製剤です。放飼したミヤコカブリダニは、葉に寄生するハダニ類を探索し、捕食します。

また、餌となるハダニ類がないときは、花粉等を餌として生活し、ハダニ類を待ち伏せします。



有効成分の種類：ミヤコカブリダニ

含有量：2,000頭/250mlボトル

その他の成分：バーミキュライト（石綿不検出）

※第1、第2若虫及び成虫を合計2000頭以上封入しています。

農林水産省登録第22894号

適用表

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	約2,000~ 6,000頭/10a

2019.10

株式会社 アグリセクト www.agrisect.com

